

基本方針

当協会は、「日本版DMO」地域連携DMO候補法人から、正式に地域連携DMOとして観光庁より登録されました。地域の「稼ぐ力」を引き出し、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立つ観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者の合意形成、各種調査データに基づくブランディングの策定、KPIの設定、PDCAサイクルを確立し、「日本版DMO」の役割を果たしてまいります。

DMO事業では、新たな計画として、リバーサイドエリアを釧路市部の観光拠点にする構想をまとめました。その中で、観光コンシェルジュ機能の新設、カヌーやサイクリング等のアウトドア情報の発信などを行っていきたいと考えております。更に、ここを拠点とし、釧路管内各地を日帰りで見学できる新たな周遊ルート「花びら周遊ルート」を設定し、様々な交通手段と観光資源を組み合わせ、市街地の連泊を促し、地域の観光産業の底上げを目指します。また、街中における体験型観光コンテンツの充実、地域資源の磨き上げを行い、新たな釧路地域ならではの着地型旅行商品の造成、販売システム構築に向け取り組んでまいります。

地域連携DMO事業と同エリアの「水のカムイ観光圏」事業では、釧路市・弟子屈町の広域連携事業として、水のカムイならではの「水の循環」「水の七変化」等、ブランドコンセプトを体感する「水のカムイと出会う旅へ」滞在プログラムの研究開発、マーケティング調査等を行ない、ブランドを浸透させ、国内外から2泊3日以上滞在観光の促進へ向け、広域的な連携による観光地域づくりを目指してまいります。

また、インバウンド誘客強化として、ホームページの刷新・動画の作製、デジタルプロモーション・マーケティング等を実施し、当観光圏の魅力を活かした自然と文化を体感するアドベンチャーツーリズムへ取り組んでまいります。

国内観光客の誘致へ向け、首都圏・関西・中部圏の観光商談会へ参加し、釧路地域ならではの商品企画を提案してまいります。更に、首都圏の旅行会社を対象とする招聘事業を行い、釧路地区の観光素材を体験・発信し、旅行商品化を通じ、閑散期対策等の誘客強化を図ってまいります。

また、季節便の利用促進を図るため、名古屋・大阪において、「釧路の食と観光フェア」プロモーションを実施いたします。

冷涼な気候の特長を活かした長期滞在客の誘致も継続し、今年度は冬季「花粉ゼロ快適空間」等の中長期滞在の誘客強化を図ります。

海外観光客誘致は、東アジアからの誘客強化として、V J 事業により、台湾メディア・中国旅行会社を招請し、海外観光客のF I T化へ応じる事業として実施いたします。

また、ホームページ、SNS等を用いた情報発信の強化を図ってまいります。

広域連携事業として、ひがし北海道観光事業開発協議会、釧路空港国際化推進協議会の事業と連動し、セールスプロモーション、旅行会社・メディア等の招請事業参加等へ取り組んでまいります。

M I C E 事業は、北海道M I C E 誘致推進協議会はじめ関係団体と連携し、北海道M I C E 懇談会・商談会参加、国際M I C E エキスポ出展、フォローアップセールス等を実施し、更なる誘致推進のため、M I C E 開催助成制度を活用して誘致活動へ取り組んでまいります。

また、新たにインセンティブツアー、研究会・学会の研究視察など、釧路ならではの特徴を活かし、誘致に取り組み、M I C E カレンダーの作成、大会記名式歓迎ポスターの配布、歓迎のぼりの設置や会場における観光案内ブースの設置等により、受入体制を整備いたします。

東北海道最大のイベントへ成長した「釧路大漁どんぱく」は、15回目を迎える節目の年を迎え、事務局を担う当協会といたしましては、関係団体と連携を図り、更なる内容の充実を目指してまいります。

本年8月1日から、L C C ピーチ・アビエーションによる釧路ー関西線が就航いたします。釧路のみならず、東北海道初のL C C 就航として、大いに期待と注目を集めております。この度の航空路線拡大という契機は、東北海道地域の連携による、更なる厚みを持った、面の観光の重要性が問われる局面と認識しており、釧路観光発展へ向けた大きなチャンスとも捉えております。

現在、釧路市において、観光立国ショーケース、水のカムイ観光圏、日本版DMO等、複数の観光施策・事業が進められる中、釧路観光コンベンション協会が果たすべき役割は、益々重く、大きなものへと変化しております。

つきましては、引き続き会員各位のご支援、ご協力をいただきながら、更なる観光振興の推進へ尽力してまいります。

以上の方針を踏まえ、各事業へ取り組んでまいります。

各事業項目

1. 観光客誘致推進事業

(1) 国内観光客誘致推進事業

- 1) 着地型旅行商品造成販売事業
 - ・着地型旅行商品、体験プログラムの造成。
 - ・観光圏及び協会両WEBを用いた着地型旅行商品販売
- 2) 旅行会社プロモーションの実施
 - ・道内外旅行会社に対する観光素材プロモーション及び商談会参加
- 3) 教育旅行誘致事業
 - ・プロモーション及び商談会参加
 - ・修学旅行ガイド作成
- 4) 旅行会社招聘事業
 - ・首都圏旅行会社
 - ・釧路地域の新たな観光素材、当協会のキャンペーン等企画提案。
 - ・閑散期対策
- 5) 中部・関西地区観光イベント及びプロモーション
 - ・JAL中部線及びANA伊丹線の季節運航に伴う誘客活動
 - ・両航路の運航継続及び期間延長要請
- 6) ひがし北海道観光事業開発協議会「女子旅プロジェクト」への参加
 - ・LCCピーチ・アビエーション就航に伴う誘客活動
- 7) 広域連携事業
 - ・ひがし北海道フードトレイル「くしろシーサイドグルメキャンペーン」
 - ・釧路地域及び近隣観光協会との連携
- 8) 秋季観光キャンペーン事業（9月上旬～10月上旬）
「活生（イキイキ）くしろキャンペーン」の実施
 - ・キャンペーン参加ホテル宿泊者限定メニュー
早朝魚河岸まち巡り～秋鮭水揚げ見学～
- 9) 冬季観光キャンペーン事業（2月上旬～3月上旬）
 - ・しつげん55PASSで巡る「冬のたんちょう号」定期観光バス企画協力
- 10) 高速道路・道東道開通PR事業への参加
 - ・ウェルカム道東道！！オールくしろ魅力発信協議会との連携
- 11) サイクルツーリズム事業への参加
 - ・くしろサイクルツーリズム推進協議会との連携

(2) 海外観光客誘致推進事業

- 1) VJ中国旅行会社招請事業
- 2) VJ台湾メディア招請事業
- 3) 香港ブックフェア出展
- 4) ひがし北海道観光事業開発協議会との連携

- 5) 釧路空港国際化推進協議会等関係団体との連携
- 6) プロモーション・招聘事業参加協力
- 7) 海外F I T向けWEBサイト「悠悠北海道」釧路地区ページ制作及び情報発信

2. 地域連携DMO事業

- (1) 釧路川リバーサイド観光拠点化事業
- (2) 花びら周遊ルート形成事業
- (3) 都市型観光モデル創出事業
- (4) ガイド育成事業
- (5) 地域資源磨き上げ及び商品化
- (6) 地域ネットワーク形成に係る観光事業者・関連団体等との調整

3. 観光圏事業「水のカムイ観光圏」～釧路湿原・阿寒・摩周～

- (1) 水のカムイ体感！滞在プログラムの開発
 - ・トラベルマート参加
 - ・デジタルプロモーション・マーケティング
 - ・ホームページ・動画制作
- (2) 水のカムイ体感！公共交通網実証実験
 - ・阿寒摩周号運行
- (3) 連泊・滞在化の促進
 - ・滞在プログラムモニターツアー
- (4) 来訪者調査
 - ・満足度調査
 - ・外国人動向調査
- (5) 国際化対応等整備事業
 - ・セミナー開催
- (6) バス・レンタカー・観光タクシー等交通の利便性等向上のための社会実験事業
 - ・手ぶら観光
- (7) 情報発信の強化事業
 - ・ポータルサイト改修等事業
- (8) 情報インフラの整備
- (9) 観光地域づくりセミナーの開催
- (10) 観光圏間連携の推進
 - ・全国観光圏協議会参加
 - ・ツーリズムE X P O ジャパン全国観光圏協議会ブース参加

4. M I C E 誘致推進事業

- (1) 日本コンGRESS・コンベンションビューロー（J C C B）との連携
- (2) 日本コンベンション協会（J C M A）との連携
- (3) 北海道M I C E 誘致推進協議会との連携
- (4) 国際M I C E エキスポ出展・誘致活動
- (5) M I C E セールス活動
- (6) M I C E 大会助成制度の運用
- (7) M I C E カレンダー・パンフレット作成
- (8) 臨時観光案内ブースの設置
- (9) 主要大会記名式歓迎ポスター作成・歓迎のぼりの設置
- (10) アフターM I C E メニューの整備
- (11) 他コンベンションビューローとの連携強化

5. 観光宣伝事業

- (1) マスコミ等による観光宣伝・取材協力
- (2) 北海道の物産と観光展への参加
- (3) 観光交流都市との友好交流の推進
- (4) ホームページ更新
- (5) フェイスブックによる情報発信
- (6) 観光パンフレット作成・配布
 - ・くしろガイドマップ
 - ・外国語表記ガイドマップ（英・繁体字・簡体字・ハングル）
 - ・釧路湿原てくてくMAP
- (7) くしろ圏観光キャンペーン推進協議会事業（ぐる得パスポート作成協力）

6. 観光団体等連携推進事業

- (1) 観光振興推進業務
 - 1) 観光事業機関及び団体との連携協調
 - ・日本観光振興協会、北海道観光振興機構、釧路観光連盟、ひがし北海道観光事業開発協議会等との連携強化。
 - 2) 観光情報の収集及び提供
 - ・日本観光振興協会観光情報発信事業への参加
 - ・北海道観光振興機構観光情報発信事業への参加
 - ・観光情報の収集及び発信
 - 3) 観光イベント事業の推進
 - ・釧路大漁どんぱく／秋季観光の幕開け大型イベント開催（9月7日～9月9日）
 - ・いい味イキイキくしろ／釧路の味覚を情報発信するイベントの開催（9月8日）
 - ・各種イベントの共催及び協賛
 - くしろチューリップ&花フェア・くしろ霧フェスティバル・くしろ港まつり・
 - 釧路新花火大会・くしろ市民北海盆踊り・くしろ冬まつり

(2) 受入体制整備推進業務

- 1) ホスピタリティ向上運動
 - ・強調月間の設定（7月1日～9月30日）
 - ・「ようこそ釧路へ」 歓迎ポスター作成、配布。
- 2) インバウンド受入体制整備
- 3) 接遇対応セミナー
- 4) 観光ガイド育成・支援
- 5) 観光案内所の運営
（釧路市観光国際交流センター内・JR釧路駅構内）
- 6) 観光施設等の美化事業参加

7. 財政基盤・受託管理事業

(1) 協会組織の強化

- 1) 新規会員の加入促進
- 2) 機関紙の発行（年1回）
- 3) 会員向けメールマガジンの発行（年6回）

(2) 財政基盤の確立

- 1) 自主財源の確保
 - ・釧路市湿原展望台レストハウス「憩っと」及びミュージアムショップの運営
 - ・物品販売事業
 - ・観光望遠鏡、自動販売機等施設活用
 - ・旅行商品の販売

(3) 釧路市指定管理施設の受託管理

- 1) 釧路市観光国際交流センター及び幸町緑地
- 2) 釧路市湿原展望台